

そら

栄区福祉保健ボランティア情報紙

第77号 平成22年12月1日発行

発行 社会福祉法人横浜市栄区社会福祉協議会
栄区桂町 279-29 ピアハッピー栄
(栄区福祉保健活動拠点内)

☎ 8 9 4 - 8 5 2 1 Fax 8 9 2 - 8 9 7 4

E-mail : office@sakaeku-shakyo.jp

URL : http://www.sakaeku-shakyo.jp

「つなげ・つながるさかえっ子の輪」を育むために・・・③

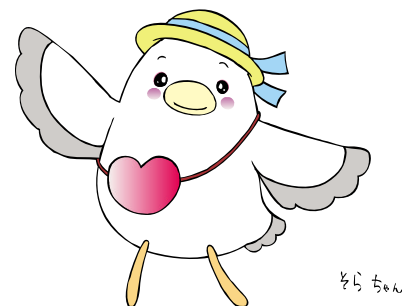
「そら」では、「さかえ次世代交流ステーション」の開設にあわせて、「つなげ・つながるさかえっ子の輪」をキーワードに次世代育成に関わる団体やグループの方を取材しています。このシリーズは、「そらちゃん」がレポーターになり、次世代育成の輪をつないでいきます。今回は3回目。障がいのある子どもたちの支援をする方の取材を行いました。

※「さかえ次世代交流ステーション」とは・・・

平成23年3月に水道局旧栄営業所（桂町711-1）に開設が予定されている施設です。①地域子育て支援拠点 ②青少年の地域活動拠点 ③障害児の居場所 ④障害者の相談支援の4つの機能を集めた拠点となる予定です。



夏から秋にかけては、楽しいイベントがもりだくさん！
今年も多くのイベントで、たくさんのボランティアが、大活躍しました。
その時の様子を、たっぷりご紹介します！



さかえ・ほっとスクール



さかえ・ふれあい運動会



栄区民まつり ぼらんていあ村

区民まつり ぼらんていあ村 報告

秋晴れの11月6日(土)区民まつり会場の本郷中学校にたくさんの方が集まりました。その一角に栄区社協ボランティア・市民活動団体分科会に属する11団体によるぼらんていあ村がありました。そこではそれぞれの活動を知ってもらうためのスタンプラリーが行われており、どこも順番待ちでなかなかの盛況でした。

子どもたちは、ゲームやクイズに挑戦してちょっとした小物をもらったり、また全部のコーナーのスタンプを集めて景品をもらったりと嬉しそうでした。

ぼらんていあ村の村長さんは、「親と一緒にラリーの流れに乗って、すべての団体を見てもらえる。ボランティアを始める人は実際の活動を見て、または講座に参加して決めるので、ここでは大人も子どもも興味をもってくれたらいい。」と話していました。

(そら編集委員：宮地・大庭 記)



ボランティア募集

野七里地域ケアプラザ(野七里1-2-31)

げんきっこひろば(子育て支援事業)でお手伝いして下さる方を募集しています。食事会や運動会など楽しい企画と一緒に盛り上げてくれませんか?

日時:毎週金曜日

午前10時~午後2時【時間は応相談】

内容:会場作り、子どもの見守り、イベントの企画・運営など



問合せ:野七里地域ケアプラザ

電話:890-5331(担当:畠山・角田)

横浜子育てサポートシステム 提供会員募集

子育ての援助を受けたい利用会員のお子さんを、子育ての援助をしたい提供会員が一時的に預かったりして、地域で子育てを支援するシステムです。あなたも提供会員として地域の子育てに参加しませんか。

※登録方法:入会説明会に参加後、3日間の研修があります。対象は、健康で子育て支援に理解と熱意のある20歳以上で、横浜市在住の方。

※入会説明会

日時:12月16日(木)、1月13日(木)

時間:午前10時30分

場所:ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)
(桂町279-29)

※事務局・問合せ先 栄区社会福祉協議会

電話:894-8521(担当:根岸・古田)

イベント

第19回たんぽぽの新春「童謡を歌う会」 ~元気が一番!~

日時:平成23年1月26日(水)

(開場)午後1時 (開演)午後1時30分

(閉会)午後3時45分

会場:栄公会堂ホール ※入場無料

出演協力者:レインボー(手話ダンス)

矢野めぐみ・伊藤正昭(歌)

津屋祥子(ピアノ)

主催:たんぽぽ

協賛:栄区シニアクラブ連合会

後援:栄区役所・栄区社会福祉協議会

栄区民生委員児童委員協議会

問合せ:たんぽぽ

電話:090-1846-6377(大森)



笠間地域ケアプラザ(笠間1-1-1)

餅つき大会

毎年恒例の餅つきを開催します。つきたてのお餅と温かい豚汁を食べながら、1年間の思い出話などをしてみませんか?(数に限りあり)

餅つき体験もできますので、ぜひケアプラザに遊びに来てください。

日時:12月19日(日)

時間:正午~午後2時

会場:笠間地域ケアプラザ

問合せ:笠間地域ケアプラザ

電話:890-0800(担当:澁谷)



ぴっころ

週3日、6名の方が交代で15時から約2時間子どもたちと一緒に活動しています。代表の寺川さん、メンバーの城田さん、許さん、岡田さんにお話を伺いました。

「音楽や造形遊びを通して、子どもたちの良い所を引き出すことが活動の中心です。学校での様子とは反対に、エネルギーが豊富な子どもたちを見てびっくりする方もいます。そうして全員が知り合いになるために、年1回の合宿や2~3回程度のお楽しみ会も活動のポイントです。」とのことでした。

「現在の対象者は小学生です。中学生の居場所は、現在、検討課題になっています。やりがいを感じるのは、子どもたちが自信をもち、元気になってくれることと、子どもたちの元気な様子をみてお母さんも元気になってくださることです。」と皆さん声を揃えておっしゃっていました。インタビュー中に子どもが2人ほど出てきて、元気な声で遊びまわり始めました。本当に必要なことを、必要な人に手を差し伸べてくださる支援者の方に感謝しながら訪問を終えました。

(そら編集委員：杉田・本山 記)



活動日

毎週火・木・金
午後3時~午後5時

場所

つどいの広場さかえ
(横浜銀行本郷台支店2階)

連絡先

サポートセンター^{みち}
相談支援室
890-6601 (寺川)

本郷特別支援学校はまっ子ふれあいスクール

本郷特別支援学校はまっ子ふれあいスクールにおじゃましました。こちらは平成15年、横浜市内の特別支援学校に初めてつくられた、はまっ子ふれあいスクールです。同校の子どもたちが、学校内のサンルームのように明るい活動場所で、スタッフやボランティアの方々と放課後の時間をゆったりと過ごしていました。チーフパートナーの宮澤先生やボランティアの方々にお話を伺いました。

皆さんとにかく子どもたちが大好き。「ボランティアを始めようと思ったら、ためらわず、まず、やってみることが大切。子どもたちと学びあい、共に育てあう、子どもとの関係作りをたいせつにしたい。」とのことでした。

「地域にはいろいろな事情を抱えたさまざまな年代の人々が暮らしています。地域の皆さんがそれぞれを知ろうとし、自分のできることは何かをそれぞれが考えることが、次世代交流につながる。」との言葉が印象的でした。

(そら編集委員：岩堀・小西 記)



(みんなでうどん作りをしました)

活動日

・月曜日~金曜日
午後1時10分~午後5時
・土曜日・夏休み等
午前10時~午後3時

場所

本郷特別支援学校
はまっ子ふれあいスクール

連絡先

894-3019
(宮澤)

さかえ・ほっとスクール

養護学校や特別支援学校、個別支援学級に通っている障がいのある子どもたちと昼食を作ったり、遊んだり、ボランティアも一緒になってみんなで楽しむ夏休みに行っているふれあい型スクールです。今年も参加者とボランティアの、たくさんの出会いがありました。

ボランティアの声

Tさん（男性）

ほっとスクールが終わると夏もおわりだなあと思えるようになってきました。来年もほっとスクールを楽しみたいです。



Aさん（女性）

参加者の皆さんのキラキラした笑顔がまぶしくて、嬉しくて、私も自然と笑顔いっぱいになりました。子どもたちや他のボランティアさん、学校の先生などたくさんの人と出会い、多くのことを学ばせていただきました。多くの人の協力により、地域全体で支えられているのだと実感しました。



Uさん（女性）

子どもたちに会ったら、元気いっぱいの笑顔に癒されました。一緒に過ごした子は本当に元気いっぱいで、私もとても楽しく過ごせました。このボランティア活動をきっかけに、ほかのボランティアへも手を伸ばしていければいいなと思いました。

来年もたくさんの方のみなさんの参加をお待ちしています！！



さかえ・ふれあい運動会

さかえ・ふれあい運動会は、障がい児・者と区内の中学生、地域のボランティアが運動会を通じて交流を深め、お互いが協力しながら楽しむ運動会です。

10月2日（土）、秋の青空が広がる気持ちの良いお天気に恵まれ、第16回さかえ・ふれあい運動会が開催されました。ブラスバンドの生演奏にあわせての入場行進。「皆で支えあって、共に生きる。目指すはNo.1ではなく only 1!」という開会の言葉でスタートしました。

初対面であることやコミュニケーションに戸惑う中学生の姿も見られましたが、「スプーンリレー」「玉入れ」と競技が進むごとに、活気が出てきました。昼食をはさみ、午後は「パン食い競争」、初の試みの「リレー」など、どんどんヒートアップしていき、会場が一体となったと実感できました。

閉会の頃には、それぞれのテントに秋の風のようなすがすがしい笑顔が溢れていました。きっと、たくさんの出会いと学びに溢れた、素敵な一日になったのではと思います。

（そら編集委員：田中・横尾 記）

